

第 16 区

定数 16 名

候補者 16 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 湊谷 謙司 2. 1961/4/18
3. 京都大学心臓血管外科学
4. 1987 年に京都大学を卒業後、小倉記念病院、国立循環器病センターで修練し、カナダ、ドイツ、アメリカにて臨床留学。現在、本会、日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本循環器学会の理事として活動中。
5. 若手医師が外科学に夢や希望を持てる環境を構築し、指導医がより適切な待遇を得られるよう外科医の環境改善を図り、臨床と学術活動を両立させた国際的活躍ができるよう、さらなる日本外科学会の発展に貢献したい。
6. 現職

1. 鈴木 友彰 2. 1972/6/1
3. 滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）
4. 53 歳 滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）教授
1997 年 鳥根医科大学卒業
2019 年 3 月より滋賀医科大学心臓血管外科教授
5. 科学としての外科学の存在意義を明らかにし、若手外科医の育成と外科学会の発展のために尽力したいと考えております。
6. 現職

1. 波多野悦朗 2. 1964/8/13
3. 京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科
4. 1989 年 京都大学卒業 1998 年 ノースカロライナ大学留学
2000 年 京都大学消化器外科 2016 年 兵庫医科大学肝胆膵外科 教授 2021 年 京都大学肝胆膵・移植外科 教授
5. 現在委員長を務めている CST 推進委員会および邦文誌編集委員会を通じて CST の発展および外科医の卒後教育に貢献し、さらに「外科医のインセンティブ」と「学会のあり方」に関しても次世代を見据えて議論したい。
6. 現職

1. 井上 匡美 2. 1966/3/3
3. 京都府立医科大学呼吸器外科学
4. 1990 年大阪大学卒業。2015 年～京都府立医科大学呼吸器外科学教授、2016 年～日本外科学会代議員、2023 年～日本呼吸器外科学会副理事長。2023 年～日本胸部外科学会理事。
5. 胸部外科学を通じて得た知識と経験を基に、外科学の魅力と重要性を若手に伝承し、生涯にわたり自ら学び考え、かつ倫理観を備えたアカデミック・サージャンの育成に尽力いたします。
6. 現職

1. 細野 光治 2. 1969/9/9
3. 奈良県立医科大学
4. 大阪市立大学医学部卒業、同 大学院博士課程修了、Amsterdam 大学留学
大阪市立大学大学心臓血管外科学講師、同 准教授、関西医科大学心臓血管外科学診療教授、奈良県立医科大学胸部・心臓血管外科学教授
5. 大学機関の在籍が長く、外科医師の育成や指導をする機会が多くありました。今後も学内外で継続していきたいと思います。教育・研究・臨床のいずれにおいても、外科学と日本外科学会の発展に尽力する所存です。
6. 新任

1. 庄 雅之 2. 1964/5/27
3. 奈良県立医科大学消化器・総合外科学教室
4. 1991 年 奈良県立医大卒業、第一外科入局
1999 年 Harvard Medical School 留学
2016 年 奈良医大消化器・総合外科教授
2020-23 年度 病院副院長
2024 年 臨床教育部長
5. 日本外科学会のこれまでの伝統を継承しつつ、さらに次世代が生き生きと活躍できるような環境整備および機会創出を心がけて、学会の更なる発展に向けて、微力ながら、これまで以上に精一杯尽力いたします。
6. 現職

1. 小野 滋 2. 1966/8/17
3. 京都府立医科大学 小児外科
4. 1991 年京都府立医科大学卒業
1999 年京都府立医科大学大学院修了
2014 年自治医科大学小児外科教授
2023 年京都府立医科大学小児外科教授
2021 年～日本小児外科学会理事（2023～25 同理事長）
5. サブスペシャリティとしての日本小児外科学会と基盤領域である日本外科学会との連携を強化して、若手外科医の確保・教育、専門医の育成を第一に、学会の円滑な運営とさらなる発展に尽力いたします
6. 現職

1. 小濱 和貴 2. 1970/11/7
3. 京都大学
4. 平成 7 年に京都大学医学部を卒業、平成 18 年に京都大学で医学博士の学位を取得。京都大学消化管外科や韓国ヨンセイ大学外科で低侵襲胃癌手術の研鑽を積み、2021 年 3 月から京都大学消化管外科教授、現在に至る。
5. 日本外科学会において、これまで邦文誌編集委員会幹事やその他の委員会の活動も経験、現在は教育委員を拝命しております。外科学の魅力の発信、若手外科医の教育、会員の労働環境向上に貢献したいと考えております。
6. 現職

1. 塩崎 敦 2. 1972/8/27
3. 京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器外科学
4. 平成 9 年 3 月 京都府立医科大学卒業
平成 19 年 3 月 京都府立医科大学大学院卒業
平成 19 年 4 月～21 年 8 月カナダ・トロント大学外科博士研究員
令和 6 年 11 月～京都府立医科大学大学院医学研究科消化器外科学教授
5. 消化器外科の診療・研究・教育に従事してまいりました。今後は外科学のさらなる発展に寄与するとともに、優秀で人間味あふれる若手外科医の育成に努め、日本外科学会に貢献していきたいと考えております。
6. 新任

1. 毛受 暁史 2. 1972/12/25
3. 京都大学医学研究科呼吸器外科
4. 1998 年 京都大学医学部卒業、京都大学呼吸器外科教室に入局
2012 年 京都大学医学研究科呼吸器外科 博士号取得
2013 年 京都大学医学研究科呼吸器外科 助教
2021 年 同 准教授
5. 教育とトランスレーショナル研究に注力し、若手外科医育成と学術・臨床の架け橋を担い、日本外科学会の発展に尽力します。
6. 新任

1. 増田 慎三 2. 1969/3/13
3. 京都大学大学院医学研究科 外科学講座 乳腺外科学
4. 1993 年大阪大学卒業、2001 年医学博士。市立堺病院、国立病院機構大阪医療センターを経て、2021 年-名古屋大学乳腺内分泌外科学教授、2024 年-京都大学大学院医学研究科外科学講座乳腺外科学教授。
5. 医学部/大学院教育を通して、未来の癌治療外科専門医の育成、地域医療連携にも注力し、専門の乳腺外科/乳腺腫瘍学を中心に、診療の向上と均霑化、そして臨床研究活性化などを通して本学会の発展に尽力する所存です
6. 現職

1. 谷 眞至 2. 1962/11/29
3. 国立大学法人滋賀医科大学 外科学講座
4. 1987 年 和歌山県立医科大学卒業
2004 年 和歌山県立医科大学外科学第 2 講座講師
2013 年 同准教授
2014 年 滋賀医科大学外科学講座教授
2020 年 手術部長
2024 年 副院長
5. すべての外科医に感動を与えるような外科学の進歩と発展に貢献するとともに、自分で疑問点を見つけそれを解決する能力を身に着けた若手外科医の育成に尽力し、外科学を通じた社会貢献を行いたいと考えます。
6. 現職

1. 小山 文一 2. 1965/12/4
3. 奈良県立医科大学消化器・総合外科学教室
4. 1990 年 奈良県立医科大学卒業 消化器・総合外科学教室に入局
- 1999 年 奈良県立医科大学消化器・総合外科学教室 助教
- 2010 年 同 講師
- 2016 年 奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡部 病院教授
5. 1990 年に日本外科学会に入会して以来、本学会の学術集会並びに専門医制度によって勉強させていただき、専門医・指導医を取得させていただきました。感謝の念を持って、本学会の発展に貢献したいと存じます。
6. 新任

1. 小田晋一郎 2. 1972/1/3
3. 京都府立医科大学大学院医学研究科心臓血管外科
4. 1998 年に九州大学医学部医学科を卒業後、九州大学心臓血管外科入局。2012 年に博士（医学）（九州大学）（医博甲 第 2449 号）取得。2024 年 3 月より京都府立医科大学大学院心臓血管外科学教授。
5. 日本外科学会の発展、日本の外科医療の発展に貢献して参ります。
6. 新任

1. 清水 智治 2. 1967/10/11
3. 滋賀医科大学医学部附属病院医療安全管理部
4. 1993 年 3 月 滋賀医科大学卒業
- 2005 年 滋賀医科大学 外科学講座 助手
- 2016 年 同講師
- 2017 年 同准教授
- 2020 年 3 月 滋賀医科大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授
5. 消化器外科および医療安全に関する学生・研修医教育、外科専攻医・指導医の育成を通じて、日本外科学会の発展に微力ながら貢献したいと存じます。
6. 現職

1. 直居 靖人 2. 1972/6/2
3. 京都府立医科大学 内分泌・乳腺外科
4. 1999 年、大阪大学医学部医学科卒業
- 2012 年、大阪大学医学部助教
- 2020 年、大阪大学医学部講師
- 2021 年、大阪大学医学部准教授
- 2022 年、京都府立医科大学内分泌・乳腺外科学教授
5. 外科における時間外労働の 3 大項目：手術・外来・研究と 15 小項目を設定して時短を進め、女性医師活躍を推進しております。乳癌学会働き方改革コンテスト全国 2 位を受賞しました。よろしくお願い申し上げます。
6. 現職